

お花見列車

お酒にまつわる大阪モノレール沿線物語

北摂の酒で
乾杯じゃ！

画像提供：
大阪大学適塾
記念センター



好評につき
増便決定！



モノゾウも登場！

大阪モノレールキャラクター
モノゾウ
©OSAKA MONORAIL

大阪大学が復活させた
銘酒「緒方洪庵」



2024年3月23日(土)

集合 大阪空港駅

解散 万博記念公園駅

増便・第一便 受付 11:15~11:45 運行時間 11:55~13:50

完売・第二便 受付 15:40~16:10 運行時間 16:20~18:25

料金

地酒(3合程度)
弁当付

6,000円(税込)

主催：大阪モノレールサービス株式会社、大阪大学大学院人間科学研究科 IMPACT

定員 130名 (最少催行人数 100名)

お問合せ：大阪モノレールサービス株式会社イベント推進係

06-6319-9785 (平日 9:30~17:30)

モノレール車内で楽しむ 北摂の日本酒

大阪モノレールのキャラクター「モノぞう」の日本酒が初登場!!

吹田市、豊中市、茨木市、
能勢町のお酒が勢揃い!



北摂の地元のお酒には、地域にまつわる数々のストーリーがある。それらのお酒を繋いで走る地元の足・大阪モノレールで、夜景を楽しみながら味わう日本酒列車の夕べ。

夜景を楽しみながら味わう日本酒列車の夕べ。



モノぞう (かたの桜)
純米吟醸酒

大阪モノレールキャラクターのモノぞうが日本酒になりました。モノぞうが休みの日に大切に飲むお酒をイメージして選んだ「かたの桜 純米吟醸」のモノぞうラベルです。



吹田のゾウ
純米大吟醸酒

吹田市産のお米で造り今や毎回品切れ続出の人気日本酒。銘柄ネーミングは吹田にアケボノゾウが棲んでいたことから。木下名酒店がプロデュース。



緒方洪庵
限定特別純米酒

2018年の西日本豪雨で被災した愛媛県・緒方酒蔵から災害ボランティアの縁で阪大が商標を受け継いで再興した、当地の復興まちづくり象徴銘酒。



發
純米吟醸酒

阪大発ベンチャー企業「ビズジーン」が、茨木市の農家や蔵元、酒屋さんとタッグを組み復刻させた酒米「三島雄町」を100%使用した、「オール茨木プロジェクト」の3年熟成酒。



秋鹿
山廃純米酒

能勢の自営田にて栽培するこだわりの無農薬山田錦で造る純米酒。今回もなかなか市中に出回らない注目の生酒をセレクト出品。

柴藤のお弁当

ピフカツの入った
和洋折衷のお弁当



純和風の
柴藤定番のお弁当



懐かしくて新しい
これぞ昭和の弁当



大阪府豊中市で昭和元年より仕出しを営む「柴藤」のお弁当。日本酒にピッタリのお弁当を3種類ご用意します。

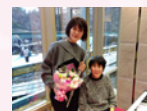
※お弁当は受付時に先着順でお選びいただけます。

車内での生演奏



TAKE★FIVE

サクセスで和音を奏でるストリートジャズバンドです。



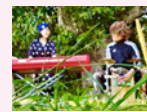
Ripple

ピアノとフルートでさざなみのような心地よい音色をお届けいたします。



parDeux (パドゥ)

サクセス、キーボードでスタンダードジャズ、ポップスを演奏します。



アクアピロー

ピアノとパーカッションのインストゥルメンタルユニットです。

大阪大学の取組み「地域に生き世界に伸びる」をモットーに



緒方洪庵
大阪大学の原点
「適塾」を開いた

大阪大学人間科学研究科では、誰もが生きがいを育むことができる共生社会の創造をめざした社学共創活動を推進、企業や地方自治体、NPO等と共創するIMPACTオープンプロジェクトの一つである「緒方らば」では、大阪大学の日本酒「緒方洪庵」

を販売し、西予市野村町の復興支援金にあてるとともに、野村町を知り、関わる「のむらさずな町民」を増やす社学共創活動に取り組んでいます。お花見列車では「緒方らば (NEOのむら)」で活動している大阪大学、愛媛大学の学生がアテンドします。



©大阪大学

IMPACT オープンプロジェクト



能登半島での支援活動

申込方法 大阪モノレールのお花見列車

QRを読み取り、LivePocket-Ticket-からお申込みください。お申込みの際は、チケット販売ページに記載の注意事項をご確認ください。お申込みにはLivePocket-Ticket-の会員登録が必要です。

申込期間 2024年2月17日(土) 17:00から 3月22日(金) 12:00まで。

その他、飲食物の
持ち込みは自由です!

大阪モノレールキャラクター
モノぞう
©OSAKA MONORAIL



申込みはこちら